

株式会社コメリ

2022年3月期第3四半期

決算補足説明資料

(2021年4月1日～2021年12月31日)



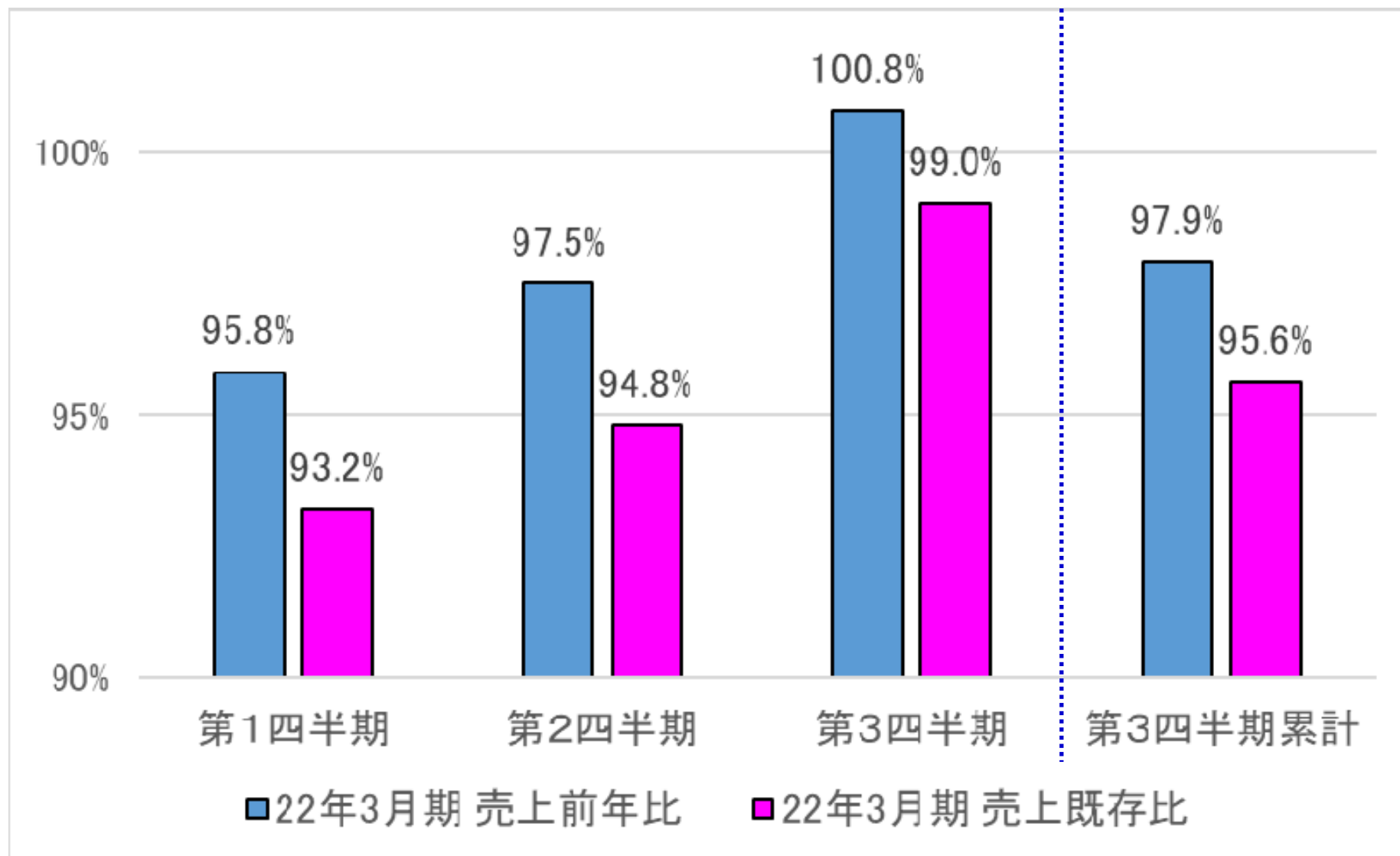
<https://www.komeri.bit.or.jp/>

© 2022 KOMERI Co.,Ltd.



2022年1月25日
東証一部 (8218)

2022年3月期売上高推移



2022年3月期 第3四半期 決算実績（連結）



（単位：百万円）

	当第3四半期 累計実績	構成比	※1 前年比	参考数値 ※2 前々年比
営業収益	293,983	100.0%	98.1%	107.7%
営業総利益	102,995	35.0%	97.6%	111.4%
販売管理費	77,873	26.5%	99.8%	102.9%
営業利益	25,122	8.5%	91.4%	150.0%
経常利益	25,537	8.7%	92.3%	151.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	17,137	5.8%	91.7%	144.6%

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

この前年比は2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した前年比を記載しております。

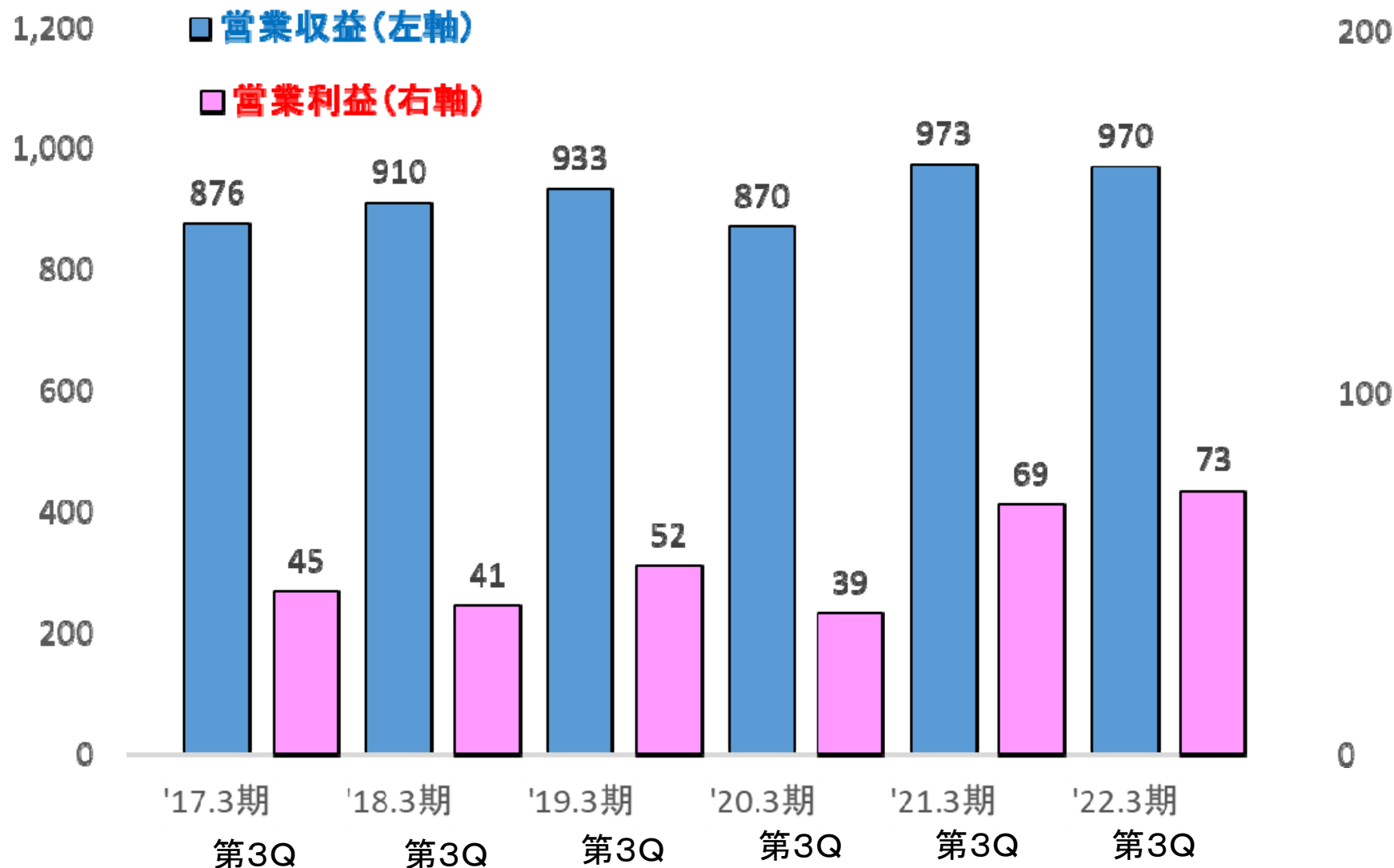
※2 前々年比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

第3四半期（10～12月）実績



営業利益の過去最高額を更新

単位：億円

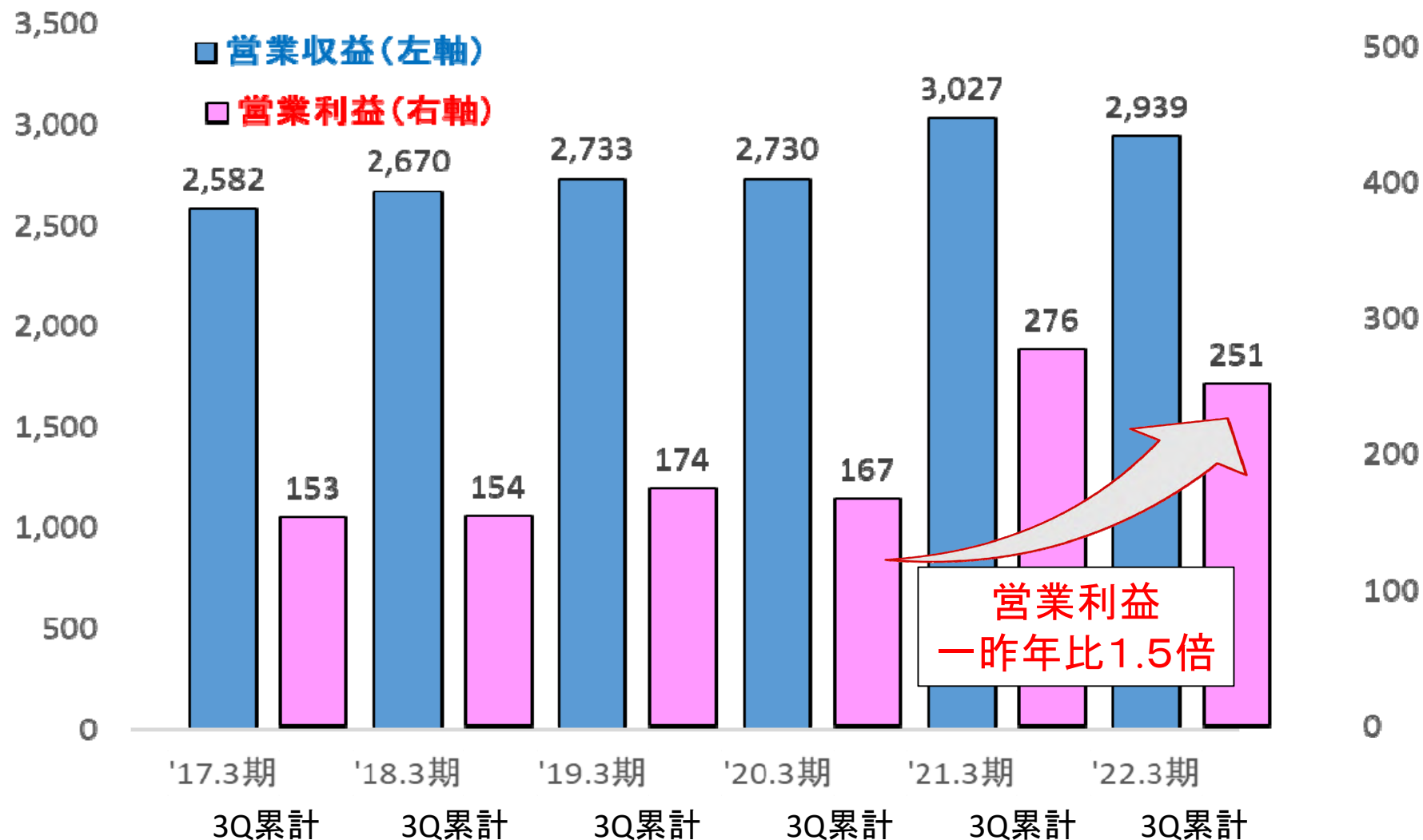


第3四半期累計（4～12月）実績



過去最高だった前期に次ぐ業績を確保

単位;億円



カテゴリー別実績



(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計		参考
	売上金額	※1 前年比	※2 前々年比
工具・金物・作業用品	51,525	96.9%	108.8%
リフォーム資材・ エクステリア用品	46,036	105.2%	118.2%
園芸・農業用品	71,997	100.2%	112.5%
日用品・ペット用品	44,819	94.1%	96.2%
家電・レジャー用品	33,789	92.6%	106.6%
インテリア・家庭用品	24,420	92.0%	97.5%
燃料他	7,503	116.4%	102.0%
ホームセンター部門合計	280,092	98.0%	107.3%

- ・前年の緊急事態宣言下で発生した需要の反動減がありました。
- ・住環境改善ニーズは高く推移しており、核カテゴリーの売上は堅調に推移いたしました。
- ・ウッドショックによる建築資材の需要増に対応し、商品供給に努めました。

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。
この前年比は2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した前年比を記載しております。

※2 前々年比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

フォーマット別実績



■ 第3四半期はパワー、PROフォーマットが堅調

(単位:百万円)

	2021年3月期 第3四半期累計		2022年3月期 第3四半期累計		参考数値
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比	売上 前々年比
パワー	115.1%	111.3%	103.8%	97.2%	116.1%
PRO	192.0%	102.0%	153.8%	103.3%	293.4%
ハード&グリーン	109.0%	108.8%	95.2%	94.9%	103.2%
合計	111.0%	109.5%	97.9%	95.6%	107.3%

上半期 パワー 売上既存比 95.5%

上半期 PRO 売上既存比 96.9%

上半期 H&G 売上既存比 93.3%

第3Q パワー 売上既存比 100.8%

第3Q PRO 売上既存比 112.4%

第3Q H&G 売上既存比 98.2%

販売管理費



(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計		
	実績	前年比	前年差
人件費	35,865	100.9%	+308
販売費	9,743	93.1%	▲719
設備費	24,485	102.7%	+647
その他経費	7,779	95.0%	▲413
合計	77,873	99.8%	▲178

人件費増加要因

改装チームの内製化

販売費減少要因

改装陳列手数料の減少

EDLP施策 チラシ本数削減

その他経費減少要因

前年投資情報機器の差額

・大型店のオペレーションモデル改革の進捗

先期DX投資の効果が表れ、店舗作業の効率化も進む

・EDLP施策がお客様に認知されてきた

⇒ローコストオペレーション体制が更に強化された

連結貸借対照表



(単位:百万円)

区分	科目	2021年12月末	2021年3月末	前期末増減	2020年12月末	前年増減
資産の部	流動資産	165,995	158,114	7,880	159,302	6,692
	うち 現金及び預金	31,801	17,303	14,497	25,609	6,191
	うち 商品	105,476	114,391	▲8,914	104,776	699
	固定資産	188,921	190,044	▲1,122	189,190	▲268
	うち 有形固定資産	162,619	162,629	▲9	162,455	164
	うち 無形固定資産	8,668	8,618	50	8,496	172
	資産合計	354,916	348,159	6,757	348,493	6,423
負債の部	流動負債	102,272	100,094	2,178	97,470	4,802
	うち 短期有利子負債	19,757	14,005	5,751	9,990	9,766
	固定負債	37,412	47,502	▲10,090	52,013	▲14,600
	うち 長期有利子負債	21,354	30,771	▲9,416	35,469	▲14,115
	負債合計	139,685	147,597	▲7,912	149,483	▲9,798
	純資産合計	215,231	200,561	14,670	199,009	16,222
	負債純資産合計	354,916	348,159	6,757	348,493	6,423

2022年3月期第3四半期までの出店状況



出店数	いつも安い、なんでも頼れる パワー KOMERI	PRO KOMERI	身近な暮らしのパートナー コメリ ハード&グリーン	国内	海外
第3四半期 累計実績	4	2	6	12	1
通期計画	10	5	11	26	—

第3四半期開店店舗(6店舗)



12月12日
コメリパワー六日町店
(新潟県)



12月10日
コメリPRO米沢店
(山形県)



11月18日
コメリハード&グリーン余市店
(北海道) 他4店舗

国内店舗数は1,212店舗に(12月末時点)

2022年3月期第3四半期改装状況



■既存店改装の推進 ～プロトモデルの水平展開～

	改装店舗数 (店)	改装坪数 (坪)
通期計画	154	約80,000
第3四半期 累計実績	131	約60,000

既存店改装は、当初計画の通りに進捗しております。

生産性の高い棚割への更新による店舗収益性の向上

店舗のすべてを「ストアラボ」でシミュレーション

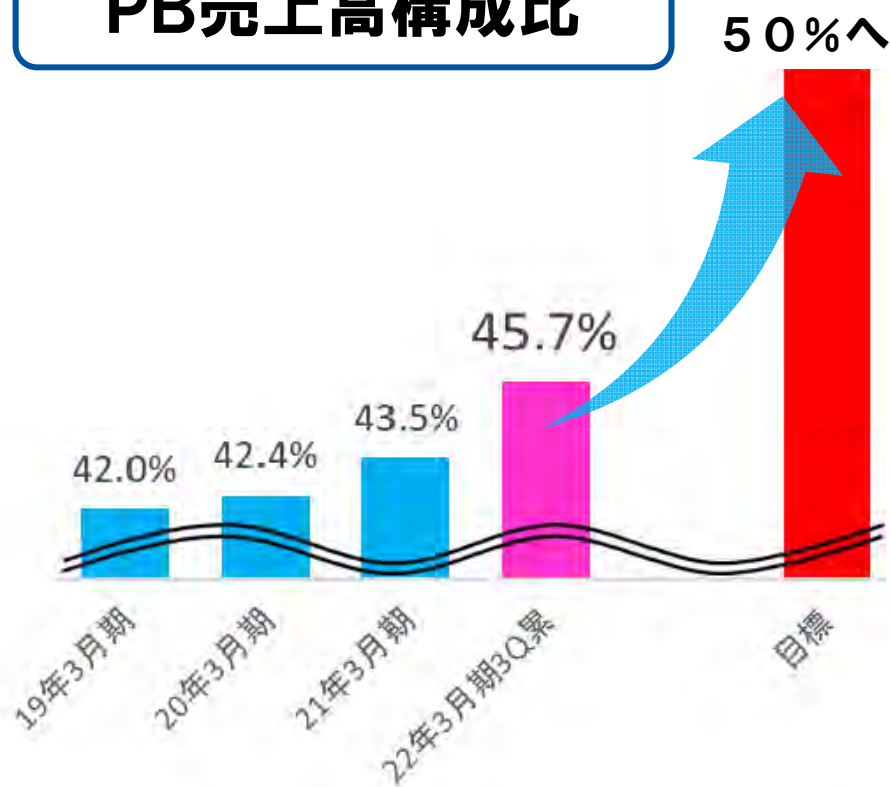


商品力強化



■ 同じ品質ならどこよりも安く、同じ価格ならどこよりも良いものを

PB売上高構成比



5つの商品がグッドデザイン賞受賞
お客様のお困りごと、潜在ニーズに
対して商品でソリューションを提供

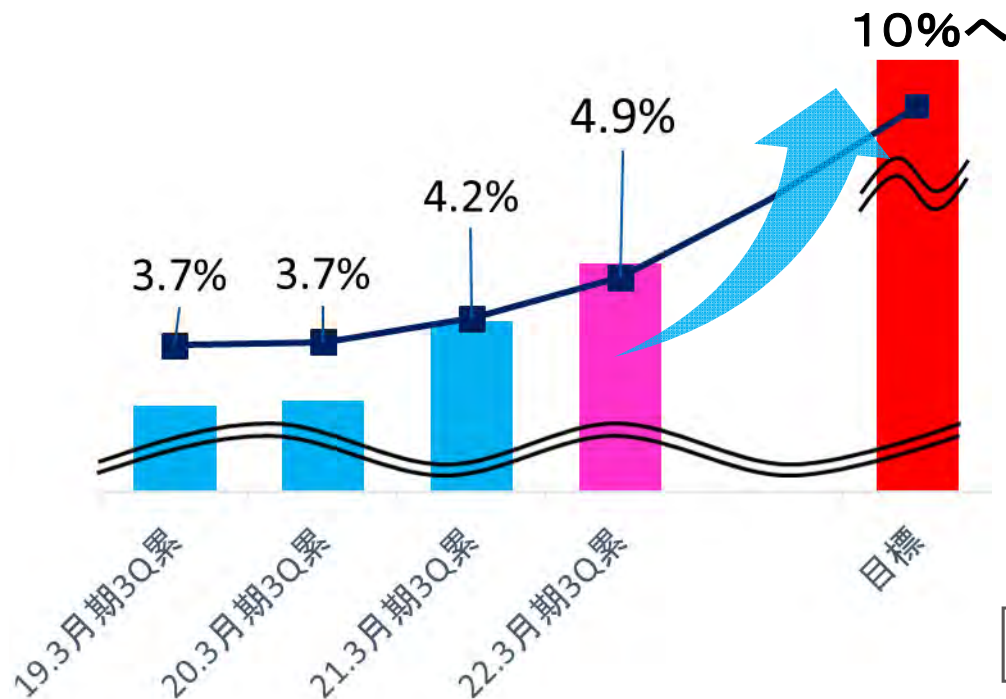
“コメリでしか買えない” 差別化された商品開発を

ネットと店舗の融合(BOPIS)



■ 店頭受取比率は80% リアル店舗の強みを活用

EC売上高とEC比率推移



第3四半期累計EC売上前年比 113.8%と堅調

リフォームサービスの拡充



■ 住環境改善ニーズの高まりに対応



リフォーム
第3四半期累計
売上前年比
108.5%



おかげさまで、コメリリフォームは
オリコン顧客満足度 ホームセンター部門

2年連続 第1位

【2020,2021年 オリコン顧客満足度(R)調査 戸建てリフォーム ホームセンター部門 第1位】

お客様のお困りごとを解決する



■ 住関連分野の総合ソリューションカンパニーへ

住急番 取付



ビルトインコンロ
交換



水栓交換



洗面化粧台
交換



エアコン
取付・交換



便器交換

住急番 サービス



ハウス
クリーニング



内装張替



庭木の
手入れ



白アリ防除



害虫駆除

住関連サービス 第3四半期累計 売上前年比 120.9%

コメリグループのESG・SDGs

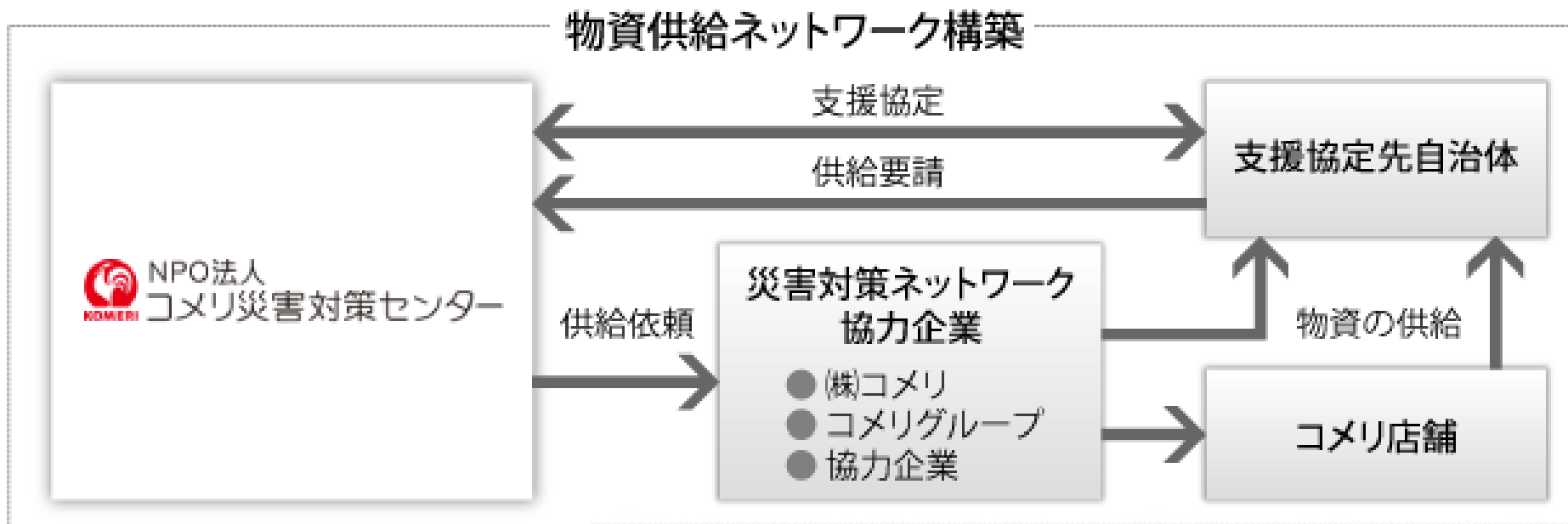


重要課題	主な取り組み内容	対応するSDGs
<p>環境に配慮した事業の展開</p>	<p>環境に配慮した商品・サービスの提供</p> <p>事業活動におけるCO₂排出量の削減と開示</p> <p>プラスチック包装容器の削減及び廃棄物の削減</p>	
<p>少子高齢化社会における社会的インフラの提供</p>	<p>新商勢圏への出店による店舗網の拡大と雇用の創出</p> <p>住まいに関するローコストな商品・サービスの供給体制の確立</p> <p>農産物等の食料生産に必要な生産資材の提供の推進</p> <p>災害時における生活必要物資の供給体制の構築</p> <p>DXの推進によるローコストオペレーション体制の確立</p>	
<p>公正な取引の推進 事業活動における 人権尊重</p>	<p>「お取引にあたってのお約束」の遵守</p> <p>持続可能な原材料及び商品調達の実施</p> <p>多様な価値観・プライバシー等を尊重し、人種、民族的背景、性別、宗教、障害、年齢、性的指向等理由とした差別の禁止</p>	
<p>多様性の尊重 働きがいのある環境づくり</p>	<p>多様な人材がより能力を発揮できる教育体制の整備</p> <p>性別やライフステージに関わらず、従業員が活躍できる環境整備</p>	
<p>コーポレートガバナンス 強化への取り組み</p>	<p>持続的な企業価値の向上のための体制整備</p> <p>取締役を含めた経営陣幹部の多様性の確保</p>	

社会貢献活動



 NPO法人
コメリ災害対策センター



- 災害時に物資を供給
- 968団体との物資支援協定を締結



社会貢献活動



「グッドデザイン・ベスト100」選出 評価ポイント <原文>

コメリが持つ流通網を積極的に活用した災害時の物資供給の仕組みのデザイン。全国11か所の流通センターを持ち46都道府県に店舗を持つコメリだからこそ災害時の物資供給の活動はとても意義深い。日常的に利用しているコメリが災害時には緊急対応のプラットフォームになっていくことで、防災を、日常と非日常の隣り合わせのものとして捉えられる仕組みのデザインが素晴らしい。この考え方を広げ、展開していくことで、日本全体の防災のデザインがアップデートされていくことが期待される。

2022年3月期 業績予想



(単位:百万円)

	2022年3月期 第3四半期累計			2022年3月期 通期		
	実績	前年比 ※1	参考数値 前々年比 ※2	業績予想	前年比 ※1	参考数値 前々年比 ※2
営業収益	293,983	98.1%	107.7%	382,000	100.0%	109.6%
営業利益	25,122	91.4%	150.0%	27,500	91.4%	148.9%
経常利益	25,537	92.3%	151.4%	27,600	91.6%	148.2%
当期純利益	17,137	91.7%	144.6%	17,300	85.4%	144.9%

※1 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

この前年比は2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して概算した前年比を記載しております。

※2 前々年比に関しては、新基準と旧基準を比較した参考数値となります。

2021年4月27日に公表した通期業績予想を据え置いております。



いつもそばに、ずっと

コメリ

【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。